

『2022年度江津湖花火は、中止に決定』 第2回江津湖花火実行委員会



花火大会会場と住宅地区の隣接に伴う人流対策・感染対策等、具体的な策を提示できず、地元自治会の賛同を得られず中止となる。行政側の段取り悪さが露呈する形となった

令和4年度(2022年度)

第2回 江津湖花火大会実行委員会

R4.5.31

次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告

- (1) 第1回実行委員会でのご意見【要旨】
- (2) 5月までに開催済の事例の主な取組み
- (3) 今後開催予定の花火大会(行政主催)
- (4) 中止決定済の花火大会(行政主催)
- (5) 国の基本的対処方針に沿った基本的な感染対策(案)
- (6) 他の開催事例等を踏まえて検討した開催方法(案)
- (7) 各委員、関係団体・機関等の主なご意見

4 議事

議案 江津湖花火大会2022の開催について

5 その他

6 閉会

江津湖花火大会実行委員会名簿

役職	区分	氏名	所属 役職
会長	市	大西 一史	熊本市長
副会長	経済	南 隆一	一般社団法人 熊本青年会議所 理事長
監事	経済	坂本 浩	熊本商工会議所 専務理事
監事	観光	甲斐 嗣敏	一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会 専務理事
委員	地域	永田 俊洋	泉ヶ丘校区自治協議会 会長
委員	地域	佐藤 虔二	健軍校区自治協議会 会長
委員	地域	西堀 豊	画図校区自治協議会 会長 欠席
委員	地域	古閑 勝徳	若葉校区自治協議会 会長 欠席
委員	商店街	井川 正宏	健軍商店街振興組合 副理事長
委員	運営パートナー	井澤 利治	株式会社 テレビ熊本 取締役

(全10名)

日時: 令和4年(2022年)6月7日(火)10時30分~

場所: 桜の馬場城彩苑 多目的交流施設 2階

令和4年度（2022年度）

第2回 江津湖花火大会実行委員会



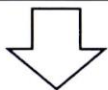
令和4年（2022年）6月7日
江津湖花火大会実行委員会事務局

1. 報告事項

(1) 第1回実行委員会でのご意見【要旨】

委員からの主なご意見

- コロナ感染者が減少してもリスクを負うことはできない。クラスターの懸念もあり今年は中止して欲しい。
- 地域経済の活性化の観点からは、開催はありがたいと考えるが、感染対策が疎かであると、結局消費活動が活発化せず経済回復にならないため、十分な感染対策をして欲しい。
- マスク着用や手指消毒だけでなく、例えば観客が間隔を空けて行けるような仕組みなどを構築することで市民に安心感を与えられるようにして欲しい。



各委員のご意見を踏まえた会長のご意見

- 開催に対して慎重な意見があることを承知した。
- 委員の意見を伺う中では、地元からの不安の声が多くあるためこのままでは開催に支障があると考える。
- 不安がある状態で開催を決定するわけにはいかない。

第1回実行委員会での決定事項

- ①事務局で他の花火大会の調査を行い、そうした事例を参考にして、市民に安心感を与えられる対策を検討すること。
- ②事務局で開催方法や感染対策などについて再度検討し、改めて自治会や地元住民に説明すること。
- ③5月に再度実行委員会を開催し、具体的な感染対策や、地元の方々と協議した結果などを報告すること。

(6) 他の開催事例等を踏まえて検討した開催方法（案）

案	概要	課題・デメリット
① 規模縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>打上発数と時間を縮小、短時間</u> (ex. 2,000発：15分、5,000発：30分 等) 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 協賛金等の収入確保が困難となり、開催に要する 予算が不足するため 開催困難 ✓ ▲ 本来の目的である交流人口の増加や地域経済の活性化の効果が小さい
② 分散開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下江津湖+サブ会場の数か所で開催 ・ 10~20分/回を数日に分けて開催 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 準備期間が不足する可能性あり (会場調整、警備体制構築・契約手続など) ▲ 協賛金等の収入確保が困難となり、開催に要する 予算が不足するため 開催困難 ✓
③ サプライズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>打上げ日時を非公開 (サプライズ)</u> ・ <u>短時間、無観客</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 協賛金等の収入確保が困難となり、開催に要する 予算が不足するため 開催困難 ✓ ▲ 周辺住民等への事前告知不可 ▲ 本来の目的である交流人口の増加や地域経済の活性化に繋がらない
④ 全席指定席 (前売)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>全席指定席 (広木公園や動植物園内を想定)</u> とし、<u>事前販売 (前売)</u> を実施 (人数制限) ・ <u>指定席への入退場口の設置 (入退場管理)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 来場者総数を減らす一定の効果は期待できるものの、チケット (指定席) 購入者以外も多数来場するため、観覧会場に入らない観客が路上や住宅街に集中し、安全確保が困難となる可能性 ✓ ※新たに警備体制 (交通規制・人員配置など) を調整し作成し直す必要が生じる ▲ 準備期間や予算等が大幅に不足 (復活開催時:調整・準備に約1年要している) ▲ 莫大な予算・人員等が必要となり、花火大会の持続可能性が失われる恐れ

その他の取組 (案) : 飲食販売・出店の制限 (フード・アルコール販売無し、ソフトドリンクのみ可) ○

(7) 各委員、関係団体・機関等の主なご意見

関係団体・機関等の主なご意見

開催について

- ・ 地元住民や子供たちも楽しみにしているので、ぜひ開催してほしい
- ・ 地域や経済の活性化のために、安全・感染対策をしっかりとうえて開催してほしい
- ・ 人が多く集まるため心配ではあるが、安全・感染対策をしっかりとしたうえで開催できるなら協力したい
- ・ 特定の時間、エリアに多くの人が押し寄せ感染リスクが非常に高まるため、今年度の開催は中止すべき
- ・ 開催に向けては、感染リスクや密集による事故のリスクを下げられるような人流動線等を再構築してほしい

感染対策について

- ・ 国や県の基準が求める基本的な感染対策は一定程度実施可能と考えられる
- ・ 来場される市民の皆様や周辺にお住まいの皆様が安心して楽しむことができる花火大会になるように、他の開催事例などの取組も参考にしながら、安心できる感染対策を検討してほしい
- ・ 他の開催事例と同様に感染対策等を行う場合、協賛金等の収入確保が困難になることや、警備体制等の安全対策の見直しによる必要経費等の大幅な増加が見込まれ、十分な予算等の確保ができず、花火大会の開催が困難となる恐れがある
- ・ 感染リスクや密集による事故のリスクを下げられるような人流動線等を再構築してほしい

警備体制・その他について

- ・ これまでの課題を踏まえた人員配置や人流動線などの見直しなど、コロナの感染対策有無に関わらずに警備体制の一部見直しを行う必要がある
- ・ 例年、来場者のマナーの問題で困っている（住宅地での敷地内侵入、ごみのポイ捨て、立小便等）
- ・ 住宅地や人家密集地での開催には限界が来ているのではないかと、他の場所での開催も検討してはどうか

2. 議事

【議案】 江津湖花火大会2022の開催について

▲ 広木町 自治会 中止の指示 広平地区 NG ← 長持区
長持区内のイベントは中止とする → 江津湖花火大会も中止 (人流対策不策)
安否対策

◎ 侵襲地区 = OK

具体的な人流対策

人流対策

自-

地元の負担の問題
不安解消

報告例の対応 具向策が明確化
あり

対策あり

中止へ

結論 → 2022年度 → 中止 → 2023年